

新たな斎場の整備検討について

芳賀地区広域行政事務組合では、真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、上三川町の1市5町により共同で斎場の運営を行っています。

現斎場は建設から42年が経過しており、建築物及び火葬炉設備について経年的な老朽化や劣化が見られることや、近年の葬送ニーズやバリアフリーなどへの対応が不十分であるなど、施設設備が全体的に不足している状況となっています。



芳賀地区広域行政事務組合斎場

また、今後の高齢化に伴う死亡件数の増加により、現在の施設で対応していくことが困難になると予測されます。

これらの課題を解決し、火葬需要に対応できる新たな斎場の整備について検討が必要となっていることから、今後、芳賀地区広域行政事務組合において、新斎場の整備に向けて、基本方針や施設規模・能力、建設場所の選定などの具体的な検討を行ってまいります。

斎場は、人生の終焉において厳粛に最後のお別れをする場所として、誰もが利用する必要不可欠な施設となりますので、皆さまのご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。